

# パソコンいわくら教室新聞

日常生活の上で地味に面倒な事柄、それは「献立」を考えることでしよう。3度の献立を毎日考えることは、煩わしい家事の一つでしよう。

ここはAIの出番！

**話** 題になったチャットGTP、少し前に登場して世間を騒がせました。それ以来AIの機能はこれまた日進月歩。前回の新聞では、グーグルのGeminiを使用した画像生成の例を上げてみました。

今回はレシビを提案してもらいましょう。

今回使用するのは、ウィンドウズに標準装備されている「Copilot（コパイロット）」を使ってみます。（Coの意味は、補助、共通、共同などの意味があります。ここでのCopilotは副操縦士の意味ですね）

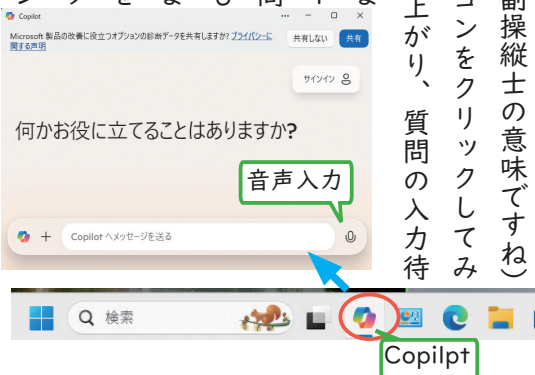
タスクバーにあるアイコンをクリックしてみよう。Copilotが立ち上がり、質問の入力待ち状態の画面が表示されます。

画面下の「…メッセージを送る」の箇所に、質問を入力してみましょう。もう

ちろん音声入力もできます。Copilotの音声入力を

使用するには、マイクrosoft フトアカウントで「サイン

イン」する必要があります。（ウィンドウズでの音



声入力とは昨年「卯月」の新聞参照）

さあ、訪ねてみよう！

**×** ッセージ入力欄に、質問してみました。今回は「玉ねぎがたくさんあります。おすすめの料理は？」と訪ねてみました。

すると5つのレシビを紹介してくれました。これは用意さ

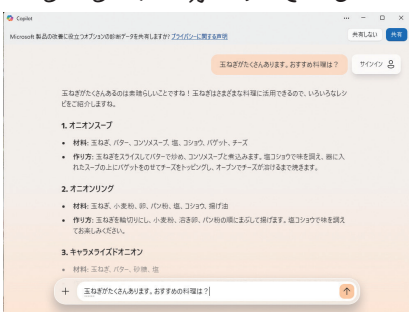
れている回答ではなく、その都度ネット上の情報から適切

な答えを導き出し表示しています。そのため、毎回異なる

回答が表示されることもあるでしょう。表示されているレ

シビの文章をコピーする機能もありますので、メモ

に残したいときは便利です。（文章の一番下にコピーボタンがあります）



つづけて追加の質問をすることもできます。

「オニオンスープを作るときに、オーブンがありません。」としてみました。すると、オーブンがないときのレシビも提案してくれます。更に質問を続けることもでき、まるで会話しているように進めることができます。新しい話題

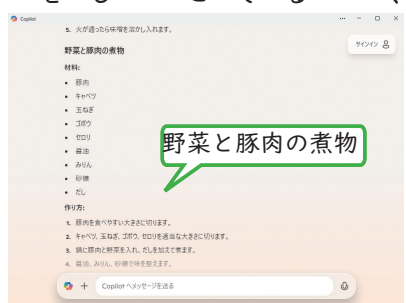
の会話を始める場合は、入力画面左の「+」をクリックし「新しいチャットを開始」としましょう。

次に、冷蔵庫のあまりもので「キャベツ、玉ねぎ、ごぼう、豚肉、セロリ」で何が作れるか聞いてみましょう。

3つのレシビを考案してくれました。

人工知能「AI」と言われるとなんだか難しそうな感じがですが、このように、身近なことに使うこともできます。

今回はレシビを例に紹介しましたが、旅先などの情報を得るのにも重宝しそうです。



松山に行くのだけどおすすめのスポットは？と尋ねると、松山城や道後温泉などいくつか紹介してくれますし、場所を尋ねると直接の表示はできないものの、地図のリンクも作成してくれます。

AIがないときの情報検索では、キーワードを上手く入力できないと、その情報にはうまくたどり着けませんでしたが、言葉で何度も尋ねれば、後はAIが導いてくれます。

まずは身近なところからAIに触れてみるのもいいのではないでしようか。

教室のWebページは左記アドレスから、スマホからはQRコードからどうぞ。新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<https://pc-iwakura.com/>

See you next month

